

のルールに基づき、令和8年度から5,500万円が加算される見通しのため増額。道支出金は、道内の延べ契約電力等に依りて毎年変動するもので、令和8年度予算には現時点での実績額を計上。正式な額が決定次第、補正予算にて対応する予定。

【総括】
無量谷委員 昨年の水害で枯死した草地の復旧対策は、野々村町長 国のエリーツク（農畜産業振興機構）事業の活用を調整中。前例のない支援だが、雪解け前には詳細を説明できる見込み。有効な補助事業になると考える。

深澤委員 就職奨励金の「地元企業」の定義と、職員不足の現状は。
岩川副町長 地元企業は「町内に施設があり納税している実態」を重視。職員数は約20人不足している。

深澤委員 過去3年間の採用・退職者数は、採用した人材が辞めてしまう理由は、早坂課長 令和7年度は採用4名、退職1名。理由は

「地元へ戻る」「スキルアップ」「他自治体への転職」など。
深澤委員 町内放送で常会計年度任用職員を募集しており、町民も不安に感じている。人材確保と退職防止に全力を尽くすべきでは、野々村町長 職員も同じ危機感を持って頑張っているが、歯車が噛み合わない部分がある。なぜ辞めてしまっているのか、事例ごとに原因を調査・排除し、長く続けてもらえる土壌づくりを徹底したい。

無量谷委員 成婚率を上げるため、専門家による事前講習が必要では。
野々村町長 講習は既に実施・検討している。職員や委員が試行錯誤して出合いのきっかけを作っている段階なので、しばらく見守っていただきたい。
齋賀委員 生乳生産拡大事業の廃止理由は、新野課長補佐 生乳生産拡大事業は実績減により終了したが、牛の価格高騰を受け、現場の要望次第で再検討もあり得る。

齋賀委員 鉄が高いうちに牧場内の不要な鉄くず等を売却して収益化すべきでは、新野課長補佐 価格の動向を見ながら処分・売却を検討する。

【総括】
高橋秀之委員 派遣看護師は何名か。
若本事務次長 看護師12名中4名が派遣看護師。
高橋秀之委員 今の状況だと派遣看護師が更に増えるのでは。
若本事務次長 医療機関向けサイトやSNSを使って看護師確保に努める。

お詫びと訂正
「ほろのべの窓」3月号にて「議会だより」の文中、高橋秀之議員の北海道社会貢献賞記事において生年月日に誤りがありました。
お詫びと訂正をいたします。

誤 昭和20年7月7日
正 昭和28年7月7日

議会の動き

- 2月25日 ▶ 北留萌消防組合議会に担当議員1名が参加
- 2月27日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会全員協議会に担当議員2名が参加
- 3月2日 ▶ 第1回議会運営委員会を開催し、委員長ほか議員4名が出席
- 3月2日 ▶ 第3回まちづくり常任委員会を開催し、委員長ほか7議員が出席

- 3月11日 ▶ 第2回幌延町議会定例会(第1日目)が開催され議員全員参加
令和8年度幌延町各会計予算審査特別委員会
- 3月12日 ▶ 第2回幌延町議会定例会(第2日目)が開催され議員全員参加
令和8年度幌延町各会計予算審査特別委員会
- 4月2日 ▶ 議会報発行編集委員会を開催し、編集委員全員が出席

編集後記

ようやく厳しい寒さが和らぎ、令和8年度がスタートしました。いつも温かく議会活動を見守ってくださり、ありがとうございます。去る4月8日、幌延小学校の入学式が行われました。13名の新一年生が元気いっぱい返事をする姿、そして未来を見つめる輝く瞳に、私たち大人も身が引き締まる思いがいたしました。

一方、世界情勢に目を向けますと、緊迫するウクライナ情勢やホルムズ海峡を巡る不透明感など、依然として予断を許さない状況が続いています。これらが私たちの暮らしに及ぼす影響を注視しつつ、事態の一刻も早い終息を願わずにはいられません。

今後も編集委員一同、議会の活動をより分かりやすく、身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

議会報発行編集委員

- 委員長 深澤博幸
- 副委員長 佐藤忠志
- 委員 無量谷隆
- 委員 高橋秀明